ものも少ないながら存在することを，文献的考察を加え報告する．

1B－10） Papillary meningioma の1手術例

三平 剛志・鈴木 明文 曲澤 聡・安井 信之（秋田県立脳血管研究センター脳神経外科）
深沢 仁（同 臨床病理科）

Papillary meningioma は若年者に好発する稀なもので悪性性格を示すとされている．今回我々は本腫瘍の1手術例を経験したので，その神経放射線学的所見，手術所見，および病理学的所見につき報告する．

症例：17歳，女性．3カ月来の左下肢脱力があり，1週間前より左上肢にも脱力出現．また頭痛，嘔気も認めたため当科受診．初診時，両側うっ血乳頭，左不全片麻痺あり．CT，MRI では右前頭葉に cystic component を有する辺縁不整な mass lesion を認め，血管撮影では ACA および MMA を feeder とし，細かな A-V shunt を有する glioblastoma 様の tumor stain を認めた．手術所見では辺縁明瞭な hard component と，深部に浸潤する soft component が見られ明らかな dural attachment は認めなかった．

病理所見：hard な部分では angiomatous meningioma の所見を呈する一方，soft な部分では多態性，多型性に富む乳頭状配列を示す腫瘍細胞が密に増殖し papillary meningioma と診断された．

1B－11） 再発髄膜腫の糖代謝

沢田 石順・峯浦 一喜 笹嶋 寿郎・古和田正悦（秋田大学脳神経外科）
小川 敏英・上村 和夫（秋田県立脳血管研究センター放射線科）

再発髄膜腫例で PET により循環・糖代謝を測定し，糖代謝の定量が腫瘍増殖能および予後推定に有用な指標であったので報告する．

症例1：50歳，女性．左視力低下を訴え，左傍鞍部髄膜腫と診断された．腫瘍部の血流量と血液量は，それぞれ 72 ml/100 ml/min と 7.0 ml/100 ml であり，糖消費量は 6.2 mg/100 ml/min の高値であった．内頸動脈周囲を除いて腫瘍が摘出され，meningotheliomatous type と診断された．術後1年目の CT で腫瘍は最大径 7 cm に再増大し，糖消費量は対側灰白質と比較して著しく亢進していた．

症例2：36歳，女性．20年前に右蝶形骨縁髄膜腫に対して手術と放射線照射が行われた．Follow-up CT で径 3 cm の再発腫瘍が認められ，循環代謝量を測定した．糖消費量は灰白質で手術と放射線照射の影響を反映して低下していたが，腫瘍では亢進して増殖能を反映していた．

1B－12） 頭皮 Tumoral calcinosis の1例

貝嶋 光信（北晨会恵み野病院脳神経外科）

Tumoral calcinosis（TC）は関節周囲の軟部組織にリン酸カルシウムの沈着をきたす疾患である．臀部，肩甲骨部，肘部などに見られることが多いが，頭部に生じたとの報告はこれまでになく，本症例が初めてと思われる．9歳女児．「頭頂部がブヨブヨしている」ことを母親が偶然発見し来院した．頭部外傷の既往はない．頭頂部に 15×7 cm の楕円型の境界を持つ皮下液貯留を触知した．頭蓋単純X線撮影では皮下に一部石灰化を示す腫瘤の像であり，骨外板の骨硬化像と併せ同部位の菲薄化が認められた．穿刺すると象牙色の粘張な液が約 20 ml 吸引された．穿刺液は無晶性リン酸カルシウムを主体とする無菌性の液体であった．カルシウム代謝異常に関わる，副甲状腺機能，ビタミンD代謝，腎機能，血清カルシウム，リン値などすべて正常であった．本症例の経過を中心に報告する．

1B－13） 大槽に進展した第4脳室 epidermoid の1例

小野 靖樹・鈴木 晋介 菅原 孝行・石川 徹 赤羽 敦也・樋口 紘（岩手県立中央病院脳神経センター脳神経外科）

今回我々は，第4脳室に発生した epidermoid の1例を経験したので報告する．症例は38歳女性．平成2年5月頃眩暈出現．貧血あり加療したが改善せず．平成3年12月，小脳症状出現したため CT を施行したところ第4脳室より大槽にかけて大きな低吸収域を認めた．MRI では T2 で延長のある第4脳室とは信号強度の異なる大槽を充満する mass を認めた．画像診断的には epidermoid 又は arachnoid cyst が疑われ，isovist CT にて辺縁不整の像が得られ，前者の診断のもと平成4年2月14日腫瘍を全摘した．腫瘍は表面を薄い膜で被われた白い光沢のある層状物で，病理所見では角化の著明な扁平上皮細胞の重層構造が認められ，epidermoid に一致した．若干の文献的考察を加えて報告する．